

薩摩川内市景観重要資産・景観重要樹木
ふるさと景観100選

色彩の仕事には「景観の色」を考えると
いう仕事があります。景観は「景色」とも
いえますが、土地土地には、まさに「そ
のまちらしい色」があります。
薩摩川内市は、そんな「らしさ」のある
景観色を持った地域が多くあります。
例えば、風格と歴史の色が息づくまち
息を飲むほどに碧く美しい海の色に囲ま
れたまち。そして川内川の豊かな四季
折々の色に彩られたまちは、離れて暮ら
す人たちの心の原風景でもあるでしょう。
それぞれの色をしっかりと持った豊か
な景観があるのは、地域の皆さんの手で、
それが大切に守り続けられているからこ
そと、訪れるたび強く感じます。
「景観は、そこに住まう人と共にある」
と考えます。
「他にない」薩摩川内市の豊かな景観を、
これからも大切にしていきたいと思
います。



薩摩川内市景観審議会委員
江良喜代子さん

薩摩川内市の景観を思う

することで、ふるさと薩摩川内市の地域
づくりの礎を築き、さらなる地域愛が育
まれるよう皆さんと共に努めてまいりた
いと思います。

これからは、地域の貴重な財産である
この景観を、地区コミュニティ協議会を
中心とした自治会活動の研修・見学や、
小学生を対象とした景観学習などに活用
うかと思います。

景観を形成する要素は、「薩摩川内市
景観100選マップ」にも紹介されてい
るように、川内川に代表される河川や、
海、山、田畑、集落など、悠久の歴史の
中で、先人が守り育み現代に継承されて
きたものです。私たちは後世に誇りを
もってこれらを継承していく義務があ
るかと思います。

我が市には景観資源が数多く存在し、
景観啓発地区として「入来麓周辺地区」、
「蘭牟田池周辺地区」、「長目の浜周辺地
区」。景観重要資産として「藤本滝」、「倉
野磨崖仏」、「江之口橋」、「長崎堤防」、「里
町武家屋敷跡の玉石垣」。景観重要樹木
として「南瀬の夫婦イチョウ」が市によ
って指定されています。



薩摩川内市景観審議会会長
徳丸節男さん

景観を地域づくりの礎に

※地図上の番号はP2～7の番号と対応。
※地図上の番号横の名称はP2～7の名称と一部異なるものがあります。



【問合せ】=本庁都市計画課景観グループ ☎(23)5111(内線3423)